

# 架線切断 問題色々！

12月18日、午後1時ごろ、東海道新幹線の豊橋～名古屋間、愛知県安城市の下り線で架線が切断（吊架線とトロリ線間の補助吊架線を切断）して停電が発生し、新幹線74本が運休し、114本が最大4時間28分遅れるなど日曜日の午後ともあって約11万人に影響が出ました。原因は調査中ということです。

## 架線切断後の運行で問題発生！

さて、今回の架線切断後の新幹線の運行に関して、色々問題が浮き上がってきました。

その一つが、新大阪到着時点から乗り継ぎ乗務員の手配ミスで30分以上遅れた列車が複数ありました。

折り返し回送列車は、お客様の乗車はありませんが、後続列車に影響し、さらに折り返えし営業列車では、新大阪発車時点で30分以上、お客様をホームにお待たせするという事象が複数の列車でありました。（のぞみ252号、のぞみ468号等）

明らかに乗務員運用のミスが発生しました。

## その他、色々問題が発生したと聞いていますが、ただいま調査中です！

乗務員サイドで起こした事象においてなら責任追及のあげく、掲示に掲出され、「無事故継続日数」といった、**責任追及ボード**の日数までリセットされます。

しかし、管理者や内勤のミスなら掲示すら出ることなしに、そのまま不問にされているのかもわかりませんか！？何が起こったのか会社として明確にすべきです！

いずれにしても、個人の責任を追及するのではなく、真の原因を恣意的な感情など入れずに、科学的に究明していくことが最も大切であり、それが安全を創造することではないでしょうか！

# 責任追及ではなく 真の原因究明を！